



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

全国各地でシンポジウム企画や学習会が行われ、意思統一がはかれています

○「介護保険のあり方を考えるシンポジウム」250名の市民が参加し大成功（長野）

6月21日、長野県大町市で「介護保険のあり方を考えるシンポジウム」が開催されました。主催は中信勤医協、共立福祉会、健康友の会、が中心となった「実行委員会」で250名が参加しました。シンポジウムの冒頭「民医連の紹介と介護ウェーブの取り組み」のビデオが上映され医療・介護再生プランの概要が紹介されました。つづいて「よりより介護保険のあり方を考える」と題し長野大学合津文夫教授の講演がありました。介護保険が出来た背景と06年改定のポイントを解説し、介護保険の課題についてまとめた講演でした。



パネルディスカッションでは、北アルプス広域連合の小林係長が来年以降の介護保険計画について解説し、このままでは保険料を上げる可能性があることを示唆しました。又、松川村地域包括支援センターの主任ケアマネジャーで社会福祉士でもある太田さんが、介護保険制度の状況を現場から見える課題として報告しました。健康友の会の太田さんはご自身の体験談として「認知症で90歳の親の介護」の実状を発言し、制度の充実を呼びかけました。松本共立病院デイケア職員の小林さんは介護ウェーブのパワーをポイントを使い運動の参加を呼びかけました。

最後に会場から、「現在の介護保険・医療保険制度は憲法25条を守っていない！」との怒りの発言があったり、「私は90歳だが私のためにも良い制度を考えてください」との発言には大きな拍手がわき起きました。

○神奈川県民医連では…

県連の介護ウェーブ方針を6月5日の理事会で確認し、第1回推進本部会議を6月17日に開催しました。運動の具体化に向けてよい動きだしました。署名の取り組みはすでに社会福祉法人うしおだが目標の300筆を突破しました。川崎医療生協も目標に近づく勢いです。また、横浜市との介護保険に関する懇談会も7月16日に決まりました。7月4日には3月に介護シンポを開催した実行委員会メンバーと介護ウェーブの取り組みについて打ち合わせ会を予定しています。第二弾の介護シンポができるかと呼びかけています。（社会福祉法人うしおだ・片倉博美氏より）

【事務局短信】



「介護ウェーブ」電子紙芝居近日公開！

学習資材として、昼休みや共同組織の班会などで鑑賞できる映像資料を作成中です。介護保険制度の問題点や介護ウェーブの取り組みの提起など8～9分程度の内容です。近日中に完成しますので、もうしばらくお待ち下さい。



「署名」の集約について

毎週、月曜日は署名の集約日です。全日本民医連に「署名集約表」をお送りください。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp